

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 12月 28日

事業所名 さくらんぼキッズfam

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			国の基準以上の広さを用意しておりますが、体を動かすリズム体操は、のびのび動けるように別の場所で行っています。
	2 職員の配置数は適切である	○		国の人員配置基準では児童10人に対し指導員2人ですが、さくらんぼでは午前クラスはほとんどマンツーマン、午後クラスでも1.5人に1人の職員がつく配置できめ細やかな支援を心がけております。	基準以上の配置を行っています。言語聴覚士、保育士、臨床発達心理士、公認心理師、介護福祉士など小児、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に務めております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		スケジュールを視覚化する、待つ場所に足跡マークをつける等の構造化を行っています。	急な階段がありますが普段は鍵をかけています。言語訓練は二階の部屋で行っているため、階段昇降の際は必ず大人が付き添うようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		季節に合わせて壁面飾りを変えて、楽しい雰囲気を作っています。	毎日必ず掃除と消毒を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			担当職員だけでなく職員全員で話し合い、お子さまの成長と課題を共通しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今年も10月に保護者等向け評価表のアンケートを実施いたしました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。結果につきましてはHPに掲載しております。いただいたご意見に対する回答は、こちらをご覧ください。
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		児童の発達に関する書籍や研修DVDの貸し出しを行っています。	ビジョントレーニングの外部研修に順番に行っています。また外部研修の参加や研修DVDの貸出を行う等、支援の質を高めるよう努めています。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			半年に一度の保護者様との面談で、ニーズや課題をお聞かせいただいた上で、相談支援事業所様からいただいた計画に沿って作成しております。
	9 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			集団活動では太田ステージという検査で発達状況を把握し支援計画を作成していません。言語訓練では、LCスケールや新版K式等、児童の発達に合わせた検査を行っています。
	10 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			児童発達支援計画に沿った支援を行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月行われる他店舗との合同会議でアイデアや成功例を共有しています。	普段の何気ない会話の中でも、子どもたちが楽しく参加ができるようなことをみんなで話しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一般社団法人日本ビジョントレーニング普及協会のサポートを受けながら月替わりでプログラムを作成しています。	毎月のプログラムを出来るようになってきたら、チーム対抗のゲームにしたり、タイムプレッシャーを与えたりして負荷をかけ、ステップアップできるようにしています。
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			定期的に保護者との面談、相談事業所とのモニタリングを行い定期的に個別支援会議を行った上で、個別活動と集団活動、リズム体操と言語訓練を組み合わせた支援計画を作成しています。
14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			開始前に職員間で必ず打ち合わせをしています。	
15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後にも職員間で児童の様子や気づいたこと、出来るようになったこと等共有しています。	

	16	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動全体と個別課題、ビジョントレーニング、コグトレを分けて記録することで、それぞれの成長を分かりやすく管理しています。	少しの変化も見逃さないように、終了後にその日の様子を記録に残しています。	
	17	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に一度、モニタリングを見直しています。	
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者や、児童の担当者が出席いたします。	
	19	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			関係機関との連携は必要に応じて行っています。保護者様とは日常的に協働できる関係性を築くため、話かけやすい雰囲気作りなど引き続き環境を調整します。	
	20	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—				該当しません。
	21	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—				該当しません。
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				引き継ぎや見学会などを行い連携を努めています。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				ご希望される方には、たからっこノートの記入、引継ぎ会議、学校の先生がさくらんぼへ見学に来ていただくことで情報の共有に努めています。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				機会がありましたら積極的に行っています。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				一緒に活動をする機会は現在のところありませんが必要に応じて行っていきたいと思っています。
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○				会議には積極的に参加をさせていただいております。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				定期的に面談を行うとともに、ご相談ごとがある際は速やかに話し合いの場を設けております。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		お子さまのタイプやお悩み別でクラス編成を行い、保護者様同士、お悩みを共有できるように努めています。	臨床発達心理士によるペアレントトレーニングを定期的に開催しています。わかりやすい形のご案内をご用意すると共に、たくさんのお保護者様にご参加頂けるよう周知徹底します。お悩みの内容ごとにクラスを分ける等、ご希望にあったプログラムを用意できるように努めます。	
	29	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				ご契約時に重要事項説明書を一緒に確認していただき、サービス利用全般にわたる説明を行い、ご署名をいただいております。
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と保護者様のご意向に基づき作成をし、同意を得てから計画を開始しています。

保護者への説明責任等	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に臨床発達心理士との個別相談会を開催しています。お母様、お父様はもちろん、ご希望される方にはご祖父様やご祖母様、保育園の先生等も一緒に来ていただいています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会は開催できていませんが、ペアレントトレーニングにご参加いただいた方は、保護者様同士でお話ができるように進行了しました。今年も行事等に保護者様も参加できるよう計画していきます。（お楽しみ会、夏祭り等）
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご相談の申入れがあった際は速やかに話し合いの場を設けています。また、必要なアドバイスができるよう常に職員の知識向上を目指します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		新しいプログラムが始まる月初には活動記録に、その動きにどのようなねらいがあるかを記載しています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	○		セコムと防犯カメラを使用し、セキュリティを強化しています。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	社会情勢を考慮しながら、今後検討していきます。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者室への掲示や再度ご案内する等、周知徹底を図ります。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な訓練実施を引き続き行い、実施内容についても活動記録よりお伝えします。今後も定期的な訓練を継続します。
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご契約時や更新時にフェイスシートにご記入いただき、職員間で共有をしています。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		少しでもヒヤリとしたことは、ヒヤリハットを作成し、今後の対策を話し合っています。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に一度、虐待防止の外部研修の参加をし、事業所内でも研修を行っています。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。